



2021年11月25日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 雪 国 ま い た け
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 足 利 巖
(コード：1375、東証第一部)
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 本 部 長
兼 経 営 企 画 部 長 兼 IR・広 報 部 長
櫻 井 威 典
(TEL. 025-778-0162)

当社連結子会社におけるマッシュルーム増産のための設備投資に関するお知らせ
～プレミアムきのこ総合メーカーへの進化に向けて～

当社の連結子会社である株式会社三蔵農林（岡山県瀬戸内市、以下、三蔵農林）は、今後のマッシュルームの需要拡大に対応するための設備投資を実施し、増産を行いますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本件の背景・目的

当社は、2019年10月にマッシュルームの生産・販売を行う三蔵農林を買収により子会社化し、当社の直販ルートでのマッシュルームの販売や販促企画の提案などにより、堅調にマッシュルームの販売量を伸ばし、マッシュルーム事業は当社グループの売上収益へ貢献してまいりました。そこで、マッシュルーム事業のさらなる強化を図るべく、当社は、2021年11月4日に発表した中期経営計画（2022年3月期～2026年3月期）において、「国内きのこ市場の更なる需要創造、及びグローバル展開するプレミアムきのこ総合メーカーへの進化」を基本方針とし、成長戦略の一つとしてマッシュルーム事業の拡大を掲げました。

マッシュルームは洋食との相性がよいきのこであり、他のきのここと異なり生で食べることができ、サラダやアヒージョなど季節を問わず、一年中食べることができます。また、まいたけを始め、当社が取り扱う和きのここと競合する可能性も低く、相互補完性があります。マッシュルームの国内生産量は約7,000トン※1と、まいたけの国内生産量の約13%ですが、2012年～2018年のマッシュルームの国内生産量は約25%増加しました。そのため、当社はメニュー提案や積極的なプロモーションにより需要を創造することで、マッシュルーム事業のさらなる成長ポテンシャルは高いと考えています。

当社グループでは、今後、国内外に向けたマッシュルーム事業を強化するとともに、お客様ニーズの高まりへ応えるため設備投資によりマッシュルームの増産体制を構築します。

※1 出所：林野庁特用林産物生産統計調査、農林水産省地域特産野菜生産状況調査

2. 設備投資の概要

- ・ 投資内容： 培養室や包装ライン、その他設備の増設・改修により、生産量の増加と生産性の向上
- ・ 生産能力： 2021年3月期実績対比で約30%のマッシュルームの生産量の増加（見込み）
- ・ 投資金額： 約9億円（2022年3月期～2024年3月期）

3. 業績への影響

本件による当社の2022年3月期の連結業績への影響は軽微です。

以 上